



かぼちゃを計る

昨年の南瓜は受粉時に雨ばかり続いて不作でしたが今年は豊作でした。本日お届けのお気に入りのカンリー2号は濃橙色でホクホク。甘栗のようです。ある日南瓜の重さを計ろうとして2kg秤にのせると2kgを越えてしまいました。「割って計るしかないかなあ?」とつぶやくと「じゃあ、2kg秤を2つ並べてその上に南瓜を乗せたら計れるんじゃない?」と重さん。やってみると片方の1.8kg、もう片方の秤は0.75kgで合わせて2.55kg。合っているかどうか切って2つの重さをあわせるとやはり2.55kgで同じでした。重さんの頭の良さに皆拍手喝采の農園でした。

お届けの野菜 ○玉葱 ○南瓜 ○きゅうり ○ピーマン ○はぐら瓜 ○オクラ

* はぐら瓜 主に千葉県で栽培されている野菜。〈歯がぐらつく人でも食べられる〉が名前の由来。縦半分にカットし種を取り除いてスライス。しそ、青とうがらし、塩を混ぜ合わせ重しをのせて一晩待つと浅漬けのできあがり!

簡単レシピ ☆オクラを茹でて切って、おかかとしょう油で和えてご飯に乗せて食べるとおいしいよ。
(hitoさん談) ・南瓜は切って茹でるだけでおいしい。(あらき)

作業日誌 ひとみ人参・ブロッコリー・レタス・サニーレタス・芽キャベツ・カリフラワー・キャベツ・きゅうり(ハウス用)・小松菜・サラダからしなの種まき。葱とさつま芋の草取り、なすの追肥、耕運、草刈り・・・など。

8月の絵本 紹介してくださるのは、市川市立国府台小学校、第一中学校、国府台病院院内学級で読み語りをしている「赤とんぼ」の田中さんです。



けんちゃんのもみの木 (BL 出版)

美谷島邦子 文

いせひでこ 絵

あの日 たくさんの星が山に降った。

1985年8月12日、群馬県御巢鷹山に日航ジャンボ機が墜落、520人が亡くなる史上最大の航空機事故でした。

その事故で9歳の息子を亡くし、心が迷子になってしまったお母さん(美谷島邦子さん)とお父さんは、焼けただれた山の斜面にもみの木を植え、くる年もくる年も、息子に会いに山に登り続けます。

もみの木は、悲しみを聞き、悲しみに寄りそい、35年で空にとどくような高さになった...

美谷島邦子さんがせつせつと綴る言葉は悲しみが今だに深いことを訴えます。いせさんの絵は美谷島さんに寄りそっているようです。その水彩画は、儚さに溢れています。切ないです。家族で何年前かに御巢鷹山を訪れました。慰霊登山と呼べるようなことではなかったのですが、今でも残るその山の雰囲気と景色に圧倒されて、胸には深く重いものが残りました。時々思い出してはつらくなります。

(その事故原因について深く探り続ける人がある事を後で知りました。日航123便 墜落の新事実 目撃証言者から真相に迫る 青山透子著 係らざるを得なかった人達全てに深い傷が残ります)

8/18 (木) 葱・じゃが芋等

野菜の傷みや代えて欲しい野菜がありましたらご連絡いただけると助かります。